（様式１）

学校番号	9	学校名	茨城県立磯原郷英高等学校

令和7年度道徳教育全体計画

諸法規

・日本国憲法

・教育基本法

・学習諸法規

・学習指導要領

校訓

真摯にしてまなざし高く

学校の教育目標

・知性、徳性、体力の調和のとれた人間性やひたむきに物事に取り組む姿勢を養う。
・適正や能力に応じた生徒一人一人の自己実現ができるように支援する。
・地域、日本そして世界の明日を担う有為な人財を育成する。

生徒の実態

全体的に明るく素朴である。
学力面については、基礎的・基本的な知識とその能力が十分に身についていない。
友人関係を重んじる生徒が多く、友人と関わり合う日常が、生徒全体の心身の成長につながっている。
学力面、生活面ともに教員のサポートを必要とする生徒が多い。

保護者の願い

就職・進学などの進路に対して、学校できめ細かな指導をしてほしいという強い要望を持っている。

道徳教育重点目標

・基本的生活習慣を確立し、節度を守り節制に心がけ、心身の調和のある生活態度を身につけさせる。
・他者を尊重し、感謝と思いやりの心をもって人に接することができるように心の豊かさを身につけさせる。

地域の実態

従来より地域に根ざした学校として、本校の教育に対する地元の人たちの興味関心は深い。

各教科・科目

国語	国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成する。
地歴	歴史的過程と生活・文化の地理的特色についての理解と認識を深める。
数学	数学的な活動を通し、数学的な見方・考え方の良さを認識する態度を育てる。
理科	自然を愛し、自然の事物・現象についての理解を深め、自然観を育成する。
保体	心身ともに健全な人間を育成し、明るく活力ある生活を営む態度を育てる。
芸術	芸術の活動を通して、感性や豊かな情操を養う。
外国語	外国の言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションする力と実践的な態度を育てる。
家庭	家族・家庭と社会との関わりを理解し、家庭や地域の生活の充実向上を図る。
情報	情報活用能力、情報モラル、プログラミング的思考を育成し、情報社会で主体的に学び、安全に活用し、未来を創造する力を育む。
総合的な探究の時間	探究活動を通して解のない問いに挑戦する力を育てるとともに、様々な価値観に対する理解を深め、進路活動や日常生活における視野を広げさせる。
専門	生活産業に関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ、合理的かつ創造的に解決する力を養う。

特別活動

ホームルーム活動

望ましい集団行動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。

クラスのホームルーム活動・部活動・生徒総会・基礎学力コンクール・ クラスマッチ・全校野球応援・しぶき祭（校内文化祭）・修学旅行の行事等を生徒主体で行うことができるようサポートする。

公民科

公共

人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追求したり解決したりする活動を通して、平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

生徒指導

・基本的生活習慣の確立を図るため、共通認識のもとに指導をしている。

・問題行動の未然防止のために、各学年と十分に連携を図りながら、実態に即した指導を行う。

・学校内外の関係機関と連携を図りながら、日常の生徒指導に誠意をもって取り組む。

家庭との連携

・保護者の学校行事への積極的な参加を呼びかけ開かれた学校作りを実践する。

・家庭訪問等を行い、保護者との連携を密にする。

地域社会との連携

・地域の方々への学校行事への積極的な参加を呼びかける。

・地域と連携し、必要に応じてゲストティーチャー等を活用しながら生徒の自己実現を促す。